



資料館だより

No.52
2015年
5月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
エコミューズ

～地域の“おもしろいわ”を掘り起こす～

【 おもしろいわ西淀川 大集合！ 】を開催しました



2月11日に「おもしろいわ西淀川大集合！」を西淀川区民ホールで開催しました。ゲストの方をお招きし、西淀川に縁がある方と地域の皆さんと共に“西淀川”をいろいろな視点で見て、語り、盛り上がりました。

午前中は地域のゲストの方のお話から始まり、『おもしろいわ西淀川Facebook』2013、2014年人気記事トップ10の発表をしました。

お昼は大阪ハラルレストランのチキンカレーとチキンティッカ。西淀川には関西最大のモスク(大阪マスコ)があります。



午後からは新潟水俣病を経験した阿賀野川流域各地で地域の方々と一緒に実情や本音を語り合う小さな寄り合い「ロバダン！」(炉端談議)についてお話を伺いました。

これからも地域の良さや面白さをたくさんの人と共有し、その情報を公開していきたいと思えます。

当日の様子はあおぞら財団ブログにも公開しています。
<http://aozora.or.jp/archives/category/houkoku/page/4>
是非そちらもご覧下さい。

●公害の授業で資料を活用しています●



姫里小学校の授業の様子

毎年、小学校5年生の3学期に行われる公害の授業。今年度、あおぞら財団は西淀川区内の6校(出来島小、川北小、柏里小、歌島小、姫里小、佃西小)で授業を実施しました。

いつも、公害患者の語り部さんのお

話を伺う前に、当時の様子を子どもたちに想像してもらうため、財団職員が少しお話をします。

今年度は、資料館にある南竹照代さんの葉袋を紹介しました。照代さんが闘病生活を綴った肉筆はやはり力があります。資料館で展示していると伝えたところ、後日、佃西小の子どもたちが授業の作文を持参しがてら、資料館の見学に来てくれました。葉袋だけでなく、初めてみる裁判資料に「すげえ！」と関心していました。

他にも授業では、地域で最初に公害

調査をはじめた西淀中学校の資料の中から、校内学習用資料として四つ切画用紙に手書きで作成された「公害に強い木 弱い木」(年未詳)の表を紹介しました。当時、子ども自身が大気汚染公害による植物への影響を調べ、自分たちのおかれた環境について考えていたことを伝えました。

子どもたちには「手渡したいのは青い空」という患者さんの思いをしっかり受け止め、一人ひとりが安心して暮らせる社会づくりに関心を持ってほしいです。

(栗本知子)

* おもしろいわ西淀川とは？ *

かつての西淀川大気汚染公害の経験を「なかったこと」にするのではなく、丸ごと受け止めて誇りを持って暮らしたい。そのために西淀川の良さやおもしろさを共有する企画です。「おもしろいわ西淀川」が始まって3年、地域で『あおぞらイコバでみせ』、ウェブ上で『おもしろいわ西淀川HP』『おもしろいわ西淀川Facebook』の活動しています。



こちらのQRコードからアクセスできます。

～ゲストの方々～



佃史探求 風と緑の会の八木一夫さんからは過去3回の「イコバ佃でみせ」の様子や佃地域伝統の箱ずしのお話を伺いました。

大阪湾でも美味しい魚が獲れるんやで！ということを教えて下さった大阪市漁業協同組合の北村光弘さん。水質が綺麗になる一方で漁獲量が減っていることをデータで示し「綺麗な海と豊かな海は違うんです」とお話されていたのが印象的でした。



あがのがわ環境学舎、山崎陽さん「ロバダン！ 3原則」

*新潟水俣病のもやい直しが目的と伝える

*相手の声に耳を傾け否定しない

*共通の価値観を探り、広げる